時事新報

（明治十九年十月一日改正）

時事新報定價
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送付スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月廿六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

	一日限	二日以上 六日迄	七日以上 十五日迄	十六日以上
一行廿四字詰	一行	至十行	至十行	至十行
自一行至三十行	八錢	七錢	六錢	八厘
三十一行以上	六錢五厘	五錢六厘	五錢三厘	五錢九厘五毛

第千三百九十七號　明治十九年十月四日　月曜日（丁酉）
（西暦一千八百八十六年）
日出午前五時五十八分　日入午後五時三十九分
月出午後十時三十八分　月入午前十時四十四分
滿潮午前九時零六分　滿潮午後十時零六分

時事新報

命が物種

時事新報の社説に於て毎々壯年有爲の士に勸告せらるゝ今の文明開化の世の中に官員たらんよりは寧ろ商人たれとの教訓は一々尤もある旨にして小生の甚だ同意を彼是手出して實驗致したる所もあるに付騒呼がましく小生の腦に銘して忘るゝあと能はざる一事を告ぐ申さんに凡そ人間の身に一番大切あるものゝ生命なり生命なくしては百事廢滅に歸すべし而して此生命を長くせんとするの術種々ある中にも別して大切あるは常に氣を養ひ心を鍛えしめず愉快活潑にして心身共に悠然餘地あらしむる事是れなり然るに小生等の如き奮發地の名の世に知れ渡らざる者にして官途に就うんか官途人才林の如きも自分の慾目より見れば尚は未だこれに滿足せる能はず我一身の私に就て申せば彼の男は予に比すれば片腕も直打もあり人物あるに其月給を見れば予に三倍せり此男の無識無藝にして且つ懶惰なる予が家の門番にもあり斷はり申すべき人物あるに其官職を問へば何々なり杯と横に觸れ事に臨む毎に何か色々思ひ出して癇癪に堪へず早々公退私家に歸り茶碗酒でも一二杯あつて無理に胸のもやくやと揉み消すこと日々として月々としてあらざるはなし茶碗酒の身体に有害あるは姑く論せず一年三百六十日胸一杯に不平を藏めて散ずること能はざる其結果は疳癖を發するまでに至らずとも日夜冥々の中に我玉の緒を少しづゝ切縮め居るものあり此不平も或は全く我驕慢心に出でゝ決して他人の與かり知る所にあらざる如き場合もあらんかあるとも人間は兎角自分勝手なるものにて曲我に在るを悟らず何處までも他人を非難するものゆえに我身何樣に立身出世するとも官途にあらん限り永劫此不平は止まざるべし然るに今民間に出でゝ商業に就うんか我同輩の人々の中にも愚人もあれば偏人もあり某店の主人の頑陋なる某社の社長の無學なる十人十色種々樣々の奇物なりて罵詈指彈に遑なきなれは官途に在て我同僚の人々を品評するの時に異ならざるなり然るに我身が官吏なると商人たるとの相違は官に在ては人の愚を見て我不平と増し商に入てゝ人の愚と見て大に自から愉快を感じ彼の男斯の如く無識なり此男斯の如く無智なり到底一戰を試むるの日には其に我俘虜なるべき人物なりとて痛り痛かに片頰に笑みて心中言ふべからざるの歡喜を催すなり或は幸にして立身出世するふとならんか我自から得る所の財力と我れ自からなれと振り廻はすの愉快は譬るにものなし或は不幸にして失敗せんか決して其咎を他人に歸せず全く我智慧の不足なりしゆえなりとて自から内に諦らめ再び氣を取直して飽くまで所志を達せんみとを勉め曾て自から其勞苦を感せざるべき氣餒えず心ひがまず生涯男らしき擧動を爲して社會の狹きを感せざるは特に商人を然りとする所なり商人は命が物種なり小生等の如き生れ故郷の者は官吏と爲りて不平に短命せんよりは商人と爲りて快活得意に長壽せんにと志士の本意なるべし

官報

○訴訟件數　明治十八年中大審院及各裁判所に於て受けさる所の民事訴訟新受の件數は大審院四百廿七件、控訴裁判所千六百三十二件（内殆書裁判所の裁判に對する控訴千六百三十六件人民より官廳に係る訴訟二十七件あり）始審裁判所本支廳一萬三千七百十五件治安裁判所の裁判に對する控訴千八百五十六件人民より郡區戸長に係る訴訟二百件あり）治安裁判所三萬九千九百六十九件、勸解五十九萬零四百七十二件ふして之を十七年新受件數に比較すれば大審院は百零一件と減し控訴裁判所は二千三百三十九件を減し始審裁判所は二萬零九百八十二件と減し治安裁判所は訴訟六萬八千二百十三件勸解十六萬六千九百七十五件を減す右十八年新受の件數を合算もとゝ八六十四萬六千二百七十一件ふまて之を十七年新受の總數九十萬零四千八百八十一件に比すれば實に二十五萬八千六百十件を減す

又爰に十八年の全數（新受舊受を合算す）と擧ぐれば六十九萬九千六百六十五件、内既決六十四萬四千六百八十件、未決五萬四千九百八十五件にして之を十七年の全數九十九萬六千九百六十件、内既決九十四萬三千五百六十三件未決五萬三千三百九十七件に比ぶれば既決は二十九萬八千八百八十三件を減ず未決は千五百八十八件を增加〻之を差引精算すれば二十九萬七千二百九十五件を減ず

（以下略す）

○全國代言人總數及除名者　本年六月三十日司法省に於て調査せる全國代言總人員は千五十二人にして昨年十二月調査後廢業せし者十四人死亡せし者五人犯罪又は組合規則違犯に依り除名せし者三名あり

○海外旅券附與數　本年九月中外務省に於て交附せし海外旅券數は米國行男十九人女一人佛國行男一人女一人朝鮮國行男一人其他歐米各國行男十五人女二人にして合計四十一人あり

○朝鮮元山港居留本邦人の戶口　本年八月の調査に係る朝鮮國元山港居留本邦人は合計二百八十一人（内男百八十六人女九十五人）にして其の戶數は七十六なり

○虎列刺患者員數　本年八月三十日より九月二十五日に至る四週間各流行地虎列刺患者員數は左の如し

流行地	月日	患者	死亡	患者百人ニ付死亡比例
東京府	自八月三十日 至九月廿五日	四、二三一	三、六〇一	八五・一一
同	同	四四六	三三七	七五・五六
京都府	同	二、七六七	二、一八二	七八・八六
大阪府	同	一、〇六五	六八六	六四・四一
神奈川縣	同	九四六	六九八	七三・七八
兵庫縣	同	七七八	四五三	五八・二三
長崎縣	同	二、一九三	一、四六二	六六・六七
同	同	三五一	二〇六	五八・六九
同	同	八二〇	五四八	六六・八三
同	同	二〇二	一三二	六五・三五
同	同	二六一	一六一	六一・六九
同	同	二、〇八二	八三一	三九・九一
同	同	八九二	五六五	六三・二四
同	同	二、一八七	一、〇五三	四八・一五
同	同	三、〇二九	一、九八八	六五・六三
同	同	二、四〇五	一、六一二	六七・〇三
同	同	三、四一六	二、三九四	七〇・〇八
同	同	五一〇	三〇〇	五八・八二
同	同	三〇八	二一七	七〇・四五
同	同	一、八五三	一、四一三	七六・二五
同	同	八四四	五三一	六三・一五
同	同	四七〇	三五七	七五・九六
同	同	九五二	六一八	六四・九二
同	同	五二三	四〇六	七七・六三
同	同	四〇七	三二一	七八・八七
同	同	三三七	二一五	六三・八〇
同	同	六三三	四八五	七六・六二
合計		三四、九〇八	二三、七七四	六八・一〇

○避病院入院患者數　東京府所管各避病院に於て去月二十二日より同二十八日に至る一週間入院せし虎列刺患者數は左の如し（但し送院の途中死亡せしものも入院中に算入す

本月二十一日ヨリ持越患者

	入院	治療	死亡	治療中	患者百人ニ付死亡比例
臨時病院	九八	四七	八四	八二	三九・四四
木所避病院	九六	三二	七五	四一	二一
臨時病院分院	二八	二〇	二	七	一〇・〇〇
駒込避病院	一三三	九四	七五	七〇	三六・一二
大久保避病院	四四	一七	五	四一	一四・五九
合計	四〇六	三〇七	一七九	二五九	二七・五三

（以上本年十月二日官報）

雜報

○總會議　元老院にては去一日午前九時より大木議長以下各議官何れも參院をて内閣より下附したる公布案に付總會議を開きたり

○帝國大學の建築　兼て時事新報へも記したる通り帝國大學にては目下化學試驗室及工科大學の二大建築中にて何れも其規摸の壯宏なると云はん方なく有試驗室の工費は十一萬圓の預算にして土木學士山口半六氏が專ら其の工事を擔任し最早や餘程工事も進みたれば來年五六月頃迄には全く竣功の筈なり又工科大學は同擇内元敎師館を取拂ひ其跡に建設の筈にて昨今地形を堀返し土臺を固むる最中なるが之れは工科大學教授立野金吾氏が擔任し竣工後二箇年にて落成の見込なて其費用は廿萬圓なる由又同大學にては追て一般に電氣燈を點火する計畫なる趣なるが差當り書籍室生徒寄宿舍及病室に點火せんとの評議ありと云ふ

○帝國大學運動會　今度同大學の有志諸氏い題名の如き一會を組織して會長を渡邊總長に依囑を分科大學の職員（判任以上）其他諸生徒等ゐて專ら身体を活潑ならしめん爲漕艇、水泳、陸上の諸運動を爲すの見込ありといふ

○荷造取締法　北海道廳にては該道産の魚粕肥料の荷造取締法を實施すべき事とあり若し一俵の量目ゐまて風袋共廿二ポンド五百目を超過するものは斷然輸出を差止る筈なりと

○水油に景況　現今水油は意外の不活潑にて賣行極めて不味あるにも拘はらず其製造方ゐ於て毫も手抑の模樣あるきは不可思議の事あれども今其次第を聞くゐ目下一般肥料の騰貴せしに連れて油ポン粕も著しき高直を顯はし元來ポン粕は水油十樽を搾上かたると云は凡八十五六個を得る由にて昨年中水油十樽に付百十圓内外の相場なる折有のポン粕は二十二三圓位の比較ありゐが現今水油は凡七十四五圓に安直なるにポン粕は三十五六圓に高直にて殆んと水油のときは引合ぬ程の下落し水油の産地八鍋の者が現今は減ずポン粕を以て肥料の爲め原種のまゝ貯ふる方却て得策なる事は昨今油の不荷出を急ぐにもあらずポン粕の非常に騰貴

○讃岐琴平社務所　宮社務所にては去一日より社務所係を減員ゐなる

Whoso is tired of the world is bound to be tired of himself.

A man is bound to be tired of himself.

人は我言葉を以て快樂なる生涯に倦

Don't expect an alive coord.

廣告は一夜にして

○今日は縁日　日本所龜澤町新橋今王

寄報

○算盤　五六銭の日なるが日般の智ひなるが日智なりと謂はんと黄ひたし

○書籍の廣告　して鄭寄料は何程書肆諸君御注意ゐを減

○乞食　第一ゐ宜しかるべの勉勵力と妨な忠れはあり何辛以後へ一切與へざるゐ

○婦人は産業　し父兄夫弟の死殘前物品を賣買するを來ゐ中等以下に孤杯を常とす實に嘆只父兄夫弟杯に依賴す女權伸張論の盛産業の事を知了せ

○書羊　羅紗は本元とある羊を我國慨あり有志は諸氏

○乞食　毎度書東京西京大坂は勿論しき限りあり何卒當とを切望す

○女郎の歎願　て以來は娼妓の稅金黄ひ度其筋の御方に

○橘名　自今一まて書すべし

○各投書家に望む　して紙面を汚すもの説を投書ありゐし

○井戸れ蓋　大害物たるゐ東京府ふものあく廣埃と思各自の注意位では行のなり

○經濟の一助　は婦人の髪を結ひゐにすれゐ燃へ易く